

求められる、地域防災力の強化

Q 消防団の役割や強みを教えてください。
消防団員は本業をもちながら、自分のまちを自分たちで守る使命感をもち、地域防災のリーダーとしての役割を担っています。

消防団は地域密着のため、住民とのつながりを生かすことができ、地形など細かいところまで把握しているのが即時に対応ができます。人数が多いことも強みですが、人口が減少していく中、人員の確保が課題となっています。

Q 消防団の活動について近年はどんな傾向がありますか？
私が消防団員になった30年前は火災が多く発生していましたが、最近では火災の発生件数は減り、ゲリラ豪雨による浸水や川の氾濫など自然災害に対応することが多くなりました。消防団の活動場面も多様化し、地域防災力の強化が求められています。

Q 消防団の今後について、どのようにお考えですか？
安心安全な有田市をめざし、地域防災のリーダーとして市民の方々と一緒に取り組んでいければと思います。



有田市消防団
団長 桑原 清喜 氏

父子として同志として



初島分団 団員
黒崎 功 氏

私の父も消防団員として活動していました。昭和58年に入団し、当時は火災も多く、消防からの直通電話が入れば、火災を知らせるため、夜中に詰所に走ったりするなど家族総出で対応していましたね。最近では火災が少なく、現場の経験を積む機会がありません。火災が少ないのは良いことなんです。火を消す技術を伝えていかなければならないと考えています。

子どもの頃、出初め式でピシッと動いている父の姿を見てカッコいいなと思っていました。若手が少なくなってきたことを聞いて5年前に入団し、入ってすぐにポンプ操法の訓練に取り組みで県の大会で優勝できました。これからの訓練をしっかりして、いざという時に慌てず落ち着いて対応できるように備えていきたいと思います。



初島分団 団員
黒崎 大祐 氏

あなたの力をまちの力へ



【消防団員数】 243名（定数：250名）

【消防団数】 7分団

【消防団1年の主な流れ】

- 1月 出初め式
- 3月 春の火災予防週間
一般家庭立入り検査
消火栓の点検
- 6月 有田市消防総合訓練
水防訓練
- 7月 夜間災害対応訓練
- 9月 消火栓の点検
- 10月 消防フェスティバル
- 11月 秋の火災予防週間
- 12月 年末警戒



消防団員 募集!!

市内在住の18歳以上で健康な方！
みんなのまちを一緒に守りましょう！
お待ちしております！

申・問 消防本部
Tel 83-3119



女性団員も募集中☆



地域防災のリーダー 有田市消防団



熱い想いでまちを守る



消防団のあゆみ

消防団の歴史は古く、江戸時代に徳川吉宗が、江戸南町奉行の大岡越前守に命じ、町火消「いろは四十八組」を設置させたことが今日の消防団の前身であるといわれています。

明治30年に消防組織が公認され、有田市では、昭和31年の市制施行に伴い、名称が「有田市消防団」となりました。

平成3年には、消防団の歴史を築かれた先人と団員の方々の功績が認められ、消防団最高の名譽である、日本消防協会特別表彰「まとい」を受賞した他、近年では、日頃の訓練の成果を発揮し、平成24年、平成26年に県消防ポンプ操法大会で優勝するなど活躍されています。